ルカの 4 章にある、イエス様が会堂でイザヤ書から朗読したときのことを考えてみてください。イエス様がルカの 4 章でイザヤ書を読みましたが、人々は驚いたと書いてあります。なぜ人々は驚いたのでしょうか？答えは聖書にはっきりと書いてあります。ルカ 4 章 22 節「人々は恵みの言葉に驚いた」と書いてあります。なぜでしょうか？イエス様が読んでいた「言葉」ではなく、「どのように読むのか」が違うのです。同じ言葉でも、声のトーン、調子で全く違う意味を持つのです。楽器屋に行くと、音を電子的に変える装置があります。私たちの声や演奏を、聖霊様によって調節していただくならば、誰かが一言も言う事もなく、祈ることもなくても、そこにいる傷ついた人が涙を流すことになると思います。聖霊の働きというのは、あなたの働きです。それは、憂いを取り除くものです。苦しみを取り除くものです。そして賛美の外套をつけさせるものなのです。みなさん、絶対にできます！あなたの働きを通して、絶対にできます。

「奉仕者」とは人々を牧し、導く者！

■次のポイントは「ダビデの模範」です。ダビデという人は、「ミュージシャン、羊飼い、ガイド、王」という者の優れた模範です。詩篇 78：72 を見ると「彼は、正しい心で彼らを牧し、英知の手で彼らを導いた。」とあります。ここで「牧し」という言葉と「導いた」という言葉に注目して下さい。もしみなさんが神様の御霊の働きを伝達するということに、本当に献身しているならば、つまり、単にミュージシャンなのではなく、本当に奉仕者としての心構えを持っているならば、あなたは「自分は牧者でもあり、ガイドでもある」という意識を必ず持たなければなりません。みんなが牧師にならなければならない、と言っているわけではありません。誰もが伝道者であるというわけでもありません。しかし、誰でもこの良い知らせを告げ知らせなければなりません。もしあなたが楽器を演奏する能力がある場合、あなたは楽器を用いて、他の人々を導き牧することができるのだ、という意識を持っていただきたいということです。あなたが自分の道具を主に委ねていくならば、それが力強い解放と癒しをもたらしていくのです。ですから、ダビデは「牧者」であり「ガイド」でした。ヘブル語で「ガイド」という意味の言葉は、「指導する、〜へ連れていく」という意味があります。人々は外にいます。中で何が起きているのかわかりません。外と中では、気温も違います。匂いも違います。つまり、教会であなたが賛美をリードしている時、会衆の中に、つまらなそうにしている人がいたとしても、その人は神様を愛していないわけではありません。信仰が後退しているわけでもありません。ただ、あなたが何をしているか分からないだけなのです。ですから私たちはその人々の手をとって、中につれてこなければなりません。その人々が神様と出会う場へと連れて行かなければなりません。私たちは御霊の働きによってそれを成し遂げるわけです。どの文化にも言えることですが、人々が神様に近づきたくなる一番魅力的なことは何か？と言いますと、「困った時に助けていただく」という約束なのです。その約束を皆さんに伝達することさえできれば、人々はもっとあなたに耳を傾けるようになります。あなたの約束ではなく、神様の約束です。「あなたが私のもとに来るならば、私はあなたを休ませます。」「すべて重荷を負って疲れている人は私のところに来なさい。私があなたを休ませてあげます。」これは神様の約束ですよね？すべての人は安らぎを求めています。そしてその安らぎは神様の臨在を通してのみ来ます。このことは、次の「励ますのであって、失望させるのではない」という非常に重要な原則に関わってきます。

「私たち（音楽奉仕者）」の召しとは

■私たちは音楽によってだけではなく、言葉によって仕えるためにも召されています。そこで大切なのは、どんな言葉を使うか、ということです。私たちの目標は、みんなに手をたたいてもらうか、手を上げてもらう程度のものではありませんよね？目標は、人々が神と出会うことです。そして彼らが神様と出会ったら、そこには解放がもたらされます。そして悲しみの心が賛美の外套と取り換えられると、人々は感謝するようになります。感謝するならば、歌いたくなります！みなさんが講壇に立つ時、人々をしかりつけるためにここに立っているのではありません。人々を導くために立っているのです。イエス様は、祈る時は「天におられる将軍様」「天におられる軍曹」と言う風に祈りなさいと言いましたか？違いますね。神様は、「天のお父様」として私たちを導いて下さり、慰めて下さるお方です。私たちの働きは、脅迫ではなく、御霊の働きによって為すべきなのです。人を切り倒すものではなく、人を建て上げるもの、それが聖霊様の働きなのです。人を拒絶することではなく、受け入れる事です。人々を追い払うのではなく、人々を近づかせる働きです。神様は私たちに「近づきなさい」と言っています。しかし人々は近づきたくありません。人々が恐れを持っているからです。わたしたちはミニストリーのとらえ方を変えなければいけません。みなさんの働きはこれです。御霊の働きです。励ましの言葉を語って下さい。

二番目のポイントは、「癒しを促進する」です。言葉は癒しと解放をもたらします。講壇に立つ特権があるなら、主に向かって歌います。賛美します。主の御名をあがめます。自分の存在の最も深いところから、感謝をもって歌って下さい。自由だから歌って下さい。解放されたから歌って下さい。そして聖霊様のうながしがあったその時に、人々を励まし、癒す言葉を語って下さい。10秒もあればよいのです。一つの歌から次の歌へ移るたった 10 秒の間に、「聖書には、神様は永遠の愛をもって私たちを愛しているとあります。どうぞ神様の愛を受け入れて下さい。」と言うことができるでしょう。 ある人は「それだけでいいの？」と思うかもしれません。でもそれがあなたの真心から出てくるならば、人は耳を傾けます。そして考え方が変わり始めます。「もし神様が本当に私を愛してくれているなら、わたしも近づいてみようかな」と人々は思い始めます。ですからあなたの語る言葉には、癒す力があります。歌う時、開かれた礼拝の時、そういう瞬間を逃さないでください。「主の癒しを受けて下さい」とか「血潮の力によって癒しを受けて下さい」と語って下さい。20 分のメッセージをする必要はありません。ここに数秒、ここに数秒あれば良いのです。そして人々の考えの中に大きなシフトをもたらすことができます。

そして最後は、「恵みを与える」ということです。人々に恵みを増し加えるということは可能なのです。ルカ 4：22「みなイエスをほめ、その口から出て来る恵みのことばに驚いた」とありますが、この「恵み」という言葉は、「喜びを与えるもの、楽しみ、歓喜、甘美、話し方の恵み、友好、親愛、好意」などの意味があります。生まれたばかりの赤ちゃんが何年後かに恐るべき殺人犯になる、というのはどういうことなのでしょうか？もちろん人間の堕落した性質ということがあります。しかし、同じ堕落した性質をもった二人の人が、一人は犯罪者に、もう一人は医者とか社会に貢献する人になるということがあります。ですから問題は罪の性質だけではありません。複雑なことをあまりにも単純に言いすぎてしまうかもしれませんが、この恵みに満ちた赤ちゃんが、恵みのない恐るべき人間になる、ということは、生まれていたときに持っていた恵みを、周囲の人々が奪って行くのです。３，４，５才の頃に「おまえは馬鹿だね。大嫌いだよ。生まれない方が良かったのに。」と言って少しずつ、恵みが取られていき、恵みのない、社会の恥となるような人物になってしまうのです。あなたのミニストリーは、楽器を演奏する事ではありません。歌を歌うことではありません。あなたのミニストリーは、恵みのない人に恵みを与えていくことなのです。恵みを持っていなかった人に恵みの言葉を話す事があなたの働きなのです。もしそうするならば、あなたは、天のお父様が人々に受け取って欲しかったものを与えていくことができるのです。天のお父様の愛です。赦しです。贖いです。その人は救われ、あなたも幸せになります。あなたの教会がいのちで満ち溢れ、感謝にあふれた人々でいっぱいになります。あなたが彼らに恵みを与えてくれたことを喜ぶ人々でいっぱいになるでしょう。だからみんなが勝つわけです。そして悪魔が負けるのです。祈りましょう。天のお父様、みことばを通して教えて下さってありがとうございます。どうぞ私たちが単なるミュージシャンではなく、ミニスター、仕える人になることができますように助けて下さい。イエス様のお名前によって祈ります。ありがとうございました。■

※この講義は CD 又は、 DVD で購入することが出来ます。ご希望の方は右のお知らせをご覧になり、学院事務局までお申し込みください。

CFNJ賛美礼拝セミナー DVD・CDの販売のお知らせ 講義

●講師／**マルコ・バリエントス師**
●講義時間／16 時間
（DVD8枚・CD16 枚）
●講義タイトル／
1．御霊の働き①②
2．預言的なミニストリーの鍵①②
3．知性と霊において歌う①②
4．預言的な歌を歌う・既知から未知へ①②
5．預言的な歌を発展させる歌
〜インスピレーションを受けて歌う〜
6．主の臨在への旅①②
7．集中したリーダーシップ①②
8．流れの中で①②
●**全講義／DVD ¥12,800・CD ¥8,000**

●講師／**キース・バンクス師**
●講義時間／6 時間
（DVD 3 枚・CD6 枚）
●講義タイトル／
「The Heart of Worship」
1．礼拝者の中での聖霊の働き①②
2．神様の油注ぎとはなにか?
3．神様の油注ぎの中を歩むためには?
4．神様の油注ぎと人間の持つ能力を見分ける
5．自分に対する神様の御心を求める
●**全講義／DVD ¥4,800・CD ¥3,000**
（テキスト〜 1 冊　¥1,000）

※お申し込みは、学院事務局まで、メール・ファックス、又はお電話で直接お申し込みください。価格は、1 講義 DVDは800円・CDは500円となっております。到着は7日〜 10 日程かかります。